

市長記者会見

(しまなみ総合事務所の概要等および新型コロナワクチンの追加(3回目)接種について)

令和3年11月19日

報道関係の皆さまには、本日もご多忙のところご参集いただき、誠にありがとうございます。

まず、冒頭に、過日ではありますが、今治市の非常備消防に所属する男性が放火の疑いがあると検挙されました。あつてはならない事案であり、なぜこうなったのか、しっかり原因を究明するとともに、再発防止に徹底していきたいと思います。

本日は、午前中に行われた全員協議会においてご説明申し上げました、「(仮称)しまなみ総合事務所」の概要及び設置場所についてと、新型コロナワクチンの追加(3回目)接種について、市民の皆様にお伝えしたいと思います。

《(仮称)しまなみ総合事務所の概要について》

まず、「(仮称)しまなみ総合事務所」の概要についてです。

総合事務所の設置につきまして、市政改革の第一歩として、私のマニフェストに掲げ、8月に立ち上げた庁内プロジェクトチームにおいて検討を進めてまいりました。

地域の皆さんのお声をしっかりと聞きするため、11月1日から5日まで、しまなみ地域の各支所においてタウンミーティングを開催いたしました。

地域の皆様からは、「支所が無くなるのではないか」、「総合事務所

の設置場所はどこか」、「どのような業務を担うのか」など、様々なご意見、ご要望等をお聞かせいただきました。

「しまなみ総合事務所」につきましては、『市民が真ん中』の視点に立ち、しまなみ圏域が一体となった地域づくりに向け、地域を俯瞰し支所を側面から支える組織、さらに本庁と支所あるいは支所間の連携を図り、今まで支所ごとに点で行ってきた施策を、線としてつなぎ、さらに面的な事業へと広げていく、そのような組織として設置を検討いたしております。

その機能といたしまして、本庁からの業務移転、権限移譲による事務の迅速化など、地域の課題解決に向けた機能強化により

○地域のことは可能な限り地域で決める体制

○専門職の職員(技術職員、保健師など)が、直接現場に赴き、専門的な課題の解決を図る体制

○各支所の『地域担当職員』を通じて地域課題を集約し、地域とのつながりを強化する体制

を整えていくことを考えております。

なお、しまなみ総合事務所設置後も、現在の支所機能については『住民の最も身近な行政サービスを行う機関』として維持してまいります。

《(仮称)しまなみ総合事務所の設置場所について》

先般のタウンミーティングにご参加いただいた皆様からも、設置場所について、多くのご質問、ご要望がございましたが、しまなみ総合事務所は、伯方町叶浦にございます「伯方開発総合センター」に設置し

たいと考えております。

設置場所を当施設内とする理由でございますが、まず、伯方島とする理由といたしましては、3点ございまして、

○しまなみ総合事務所は専門職員が各支所に出向き、地域課題の解決に取り組む体制であるため、三島の中心の位置である伯方島に置くことで、スピード感のある対応がとれること

○職員の移動に係る、あるいは地域の皆さんの移動に係る、通行料等の軽減を図ることができること

○しまなみ地域の中心として、迅速に市民の生命と財産を守るという目的で今治市北消防署が配置されており、同様に伯方警察署も設置されていることから、行政上の拠点として最適と考えられること

でございます。

次に、「伯方開発総合センター」内とする理由といたしましても、3点ございまして、

○叶浦地区はしまなみ海道の伯方ICと近接し、大島・大三島に迅速にアクセス可能で、かつ伯方島島内の移動についても利便性が高いこと

○伯方SCパーク内に公用車駐車場が確保可能なこと

○今治市北消防署に近く、災害時の連携が容易となること

でございます。

なお、当施設は改修整備が必要となりますので、令和4年4月の開設時には、現在の伯方支所庁舎2階を仮設事務所とし、改修整備完了後に移転したいと考えております。

《新型コロナワクチンの追加(3回目)接種について》

次に、「新型コロナワクチンの追加(3回目)接種」についてでございます。

今年の5月下旬から皆さまには、新型コロナワクチンを順次接種していただいたところですが、本市としましても国の方針に基づき、12月初旬から医療従事者を皮切りに2回目接種が終了してから8か月経過した方より、順次、追加接種ができるように準備を進めております。

一般の方の接種は、今治市では5月25日から個別接種を65歳以上の高齢者の方から始めましたので、来年2月下旬ころから3回目の接種が開始されることとなりますが、接種時期が来ましたら順次、接種券や案内を送付してまいります。

なお、接種を行う医療機関につきましては現在、今治市医師会と調整を行っております。

予約は、前回と同じく、インターネットやコールセンターにて受付する方法で行う予定でございますが、今回は予約受付のサポートを行うお助け隊を予約開始当初から市民会館や各支所、旧市内の各公民館に設けるよう考えておりますので、接種券が届いたら市民会館、お近くの支所、旧市内の公民館へ足を運んでいただき、接種の予約をお願いできればと思います。

加えまして、5歳以上11歳以下のお子さんへの接種につきましては、現在、国で議論がなされているようでございます。

引き続き、国の動向に注視しながら、今治市医師会等と協議を進め、迅速に接種できるよう体制の準備を進めてまいりたいと考えております。

今治市の新型コロナワクチン接種もほぼ完了に近づいておりまして、11月15日時点での接種率は、1回目接種済の方が87.0%、2回目接種済の方が84.3%と県全体の接種率と比較しても高い水準となっています。

これにより、本市の総人口に対する累計陽性者数の比率は、松山市や東予の他の3市に比べて最も少ない状況となっており、これも偏りに今治市医師会様や市民の皆様のご理解、多くの皆様のおかげだと思っていますし、ワクチン接種の効果のあらわれかと思えます。改めてすべての皆さんに感謝を申し上げたいと思います。

また、しまなみ総合事務所の話に戻りますが、しまなみ地域は、世界に誇れる多島美や温かい人情、サイクリストの聖地といった、たくさんのストロングポイントがございます。

これらを活かし、様々な地域課題の解決に向け、まずは「隗より始めよ」、新たなチャレンジとして「しまなみ総合事務所」を開設したいと考えております。

このチャレンジによって、しまなみ地域の活性化への取組みを島嶼部ばかりではなく、市内全域へと波及効果をもたらしていく、瀬戸内クロスポイント構想の推進役として、また、人口減少の著しいしまなみ地域ですが、今治の未来をけん引できる地域として発展できるよう、大きく育ててまいりたいと考えております。

「しまなみ総合事務所」がしまなみ地域へ吹く“新しい風”となり、より実効性のある組織に昇華させるためにも、地域の皆様からご意見をいただきながら、しまなみ地域が一つになって育てていただきたいと思います。メッセージを送らせていただきます。

今後、タウンミーティングも重ねさせていただき、本日、市議会総務委員協議会及び議員協議会において、市民の選良である議員の皆様から頂戴したご意見を踏まえ、さらに検討を深めながら、令和4年4月の開設に向け、人員や所管事務等の詳細についての検討を進めてまいります。